

みなさんと議会を結ぶ……議会だより

の 議会ゆがわら

平成29年2月

No.101

湯河原町議会のホームページ <http://www.town.yugawara.kanagawa.jp/>
湯河原町議会のE-mail gikai@town.yugawara.kanagawa.jp

編集/発行 湯河原町議会
〒259-0392
神奈川県足柄下郡湯河原町中央二丁目2番地1
TEL 0465-63-2111(代) FAX 0465-63-9674

湯河原梅林 「梅の宴」

平成29年2月4日(土)から3月12日(日)まで開催中
ライトアップ 2月25日(土)~3月5日(日)



(写真は昨年の梅林の様子です)



12月
定例会

11/29~12/9

● 主な内容 ●

一般質問	2
委員会だより	5
審議と賛否	9
一般会議	10
委員会出席状況	11

12月定例会

平成28年第5回湯河原町議会12月定例会は、11月29日から12月9日までの11日間(本会議開催3日間)にわたり開催されました。

この定例会では、条例、補正予算、人事の議案15件のほか、議員提出議案1件を審議しました。

※一般質問とは...

議員が本会議で、議長の許可を得て、町政全般(一般事務、事業の執行状況、将来に対する方向性など)について、町長など執行機関の考え・方針を議員個人として質問することです。

質問内容は、あらかじめ議長に通告しなければなりません。



一般質問

Q 本町におけるひとり親家庭の現状と寡婦控除のみなし適用について

松井一寿議員

①本町において、ひとり親家庭はどのくらいあるのか伺います。また、そのうち婚姻歴のない未婚のひとり親家庭がどのくらいあるのでしょうか。

を実施することについて、どのようにお考えかご所見を伺います。

A

①平成28年9月現在、ひとり親家庭に支給する児童扶養手当の認定者数は、本町では253世帯で、そのうち婚姻歴のない未婚のひとり親家庭は16世帯です。

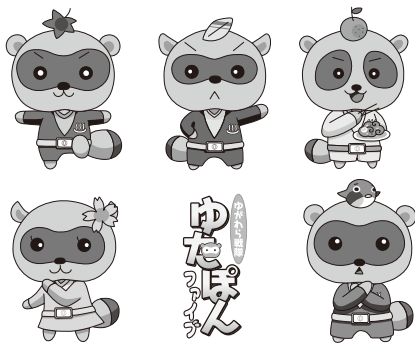
②「寡婦控除」は所得税法上、配偶者と離別または死別した後、婚姻していない方、または配偶者の生死が明らかでない場合のひとり親が対象となるため、婚姻歴のない未婚のひとり親については、控除を受けることができません。

「ご質問の「寡婦控除のみなし適用」についてですが、婚姻歴のない未婚のひとり親家庭の場合、所得税額はもとより、それに基づいて算定される各種利用料などに影響す

ることが想定されます。他の自治体の状況を見ますと、保育所等の保育料や、公営住宅の家賃などにつきましては、寡婦控除のみなし適用で対応している場合があり、県内では、横浜市等の政令指定都市3市のほか、7市で実施しておりますので、今後も他市町村の動向を注視しながら、検討してまいりたいと考えております。

【その他の質問】

・本町における広報・行政情報の提供について



Q ともに支えあい笑顔で暮らせるまちづくりの実現に向けて

石井 温議員
湯河原町を長年支えていただいた年長者の皆さんに、より快適な生活環境を提供することは、行政として必要なものだと考えます。

さらに、団塊の世代がすべて後期高齢者の仲間入りをする2025年までに、どのような準備

ができるのかも課題の1つとして考えます。そこで、認知症について、前年度質問させていただき、ご答弁いただいた「認知症ケアパス」のその後の作成状況等をお聞かせください。

A

「認知症ケアパス」とは、認知症と疑われる事例が発生した場合に、い

つ、どこで、どのような医療・介護の支援を受けられるのかを、高齢者やそのご家族に、あらかじめ知っておいていただくことを目的に、地域の様々な社会資源を整理した上で、認知症の症状に応じた適切なサービスや、相談窓口の案内等内容として作成するものです。

平成27年1月に厚生労働省より示された新オレンジプランにおいて、医療・介護等の有機的な連携を推進するものとして位置付けられております。また、ゆがわら2011プラン後期基本計画において、認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り、住み慣れた地域で暮らし続けられる支援体制を構築するための具体的な施策の一つでもあります。現在、「認知症ケアパ

ス」の作成について、地域包括支援センターを中心に情報収集等を行い、併せて近隣自治体との情報交換や広域的な作成についての検討などを行いながら、より見やすく実用的なものとなるよう、掲載内容や構成などについて、調整を図っているところです。

今後は、小田原医師会湯河原班をはじめとする関係団体等のご意見なども伺った上で、平成29年度中の完成を目指しております。

【その他の質問】

・「湯ったりゆがわら健康プラン」の進捗状況について
・特定健診やご長寿健診の受診率の向上の施策について

Q 町民の健康を目指す取り組みについて

佐藤 恵議員

湯河原の町民

の皆さまが、健康で元気に齢を重ねられるようにする、町の施策について質問いたします。

町民が個々に医療関係情報カードを所持する体制づくりについて、九州の臼杵市で実施している「うすき石仏ねっと」は、市内の医療機関と介護施設等を結び電子情報のネットワークとなっており、希望する市民の加入者には石仏カードを交付しています。

参加施設にカードを提示することにより、カード所持者の病歴、薬の内容、検査結果などの情報を共有することができ、仕組みになっていきます。本町でのこのようなカードの導入について、どのような見解をお持ちかお

尋ねいたします。

A

このような仕組みを導入するに当たりましては、小田原医師会、小田原歯科医師会、小田原薬剤師会、介護事業者など地域医療や介護を取り巻く様々な機関の積極的な協力が必要不可欠です。またカードの導入に当たりましては、質の高い医療、または介護サービスの提供をするために、本町のみならず、広域的な連携、さらには全国的な連携が必要であると考えております。

高齢化社会がますます加速していく中、地域医療の重要性及び情報共有の必要性は認識しておりますので、検討すべき課題として、先進事例や厚生労働省が構築を目標としている「次世代型保健医療システム」等を参考として、今後研究し

てまいりたいと考えております。

【その他の質問】

・がん検診の内容、対象者、受診率、受診率向上のための取り組みについて
・特定健康診査の内容、対象者、受診率、受診率向上のための取り組み、受診結果から得られた特定保健指導の対象者の人数と指導の効果について
・本町での脳血管疾患の現状と課題、改善のための対策について

Q 国民健康保険料について

山本俊明議員

平成28年9月

29日に開催された決算審査特別委員会での審査の際、決算の認定に関し、平成27年度湯河原町国民健康保険事業特別会計における国民健康保険料について、徴収率の向上や

制度改正等の要因により、繰越額が増えている中で、安易に下げることが前提にするわけではなく、検証をいただいで、来年度以降の料金改定について、検討をお願いしました件ですが、その後の進捗状況についてどのようになっているか、お尋ねいたします。

A 今定例会において、湯河原町国民健康保険条例の一部改正について上程を予定しておりますが、これは国民健康保険料の賦課方式を見直し、平成30年度に資産割を廃止するに当たり、段階的に所得割へ移行するものです。資産割を廃止することにより、固定資産をお持ちの方の中には保険料が下がる方もおられますが、固定資産をお持ちでない方は、保険料の負担が増すこととなります。これらの方の負担の緩和につきましても、資産割の廃止と併せ検討してまいりました。

また、決算審査特別委員会の審査で、山本議員から国民健康保険料について、来年度以降の料金改定について、検討していただきたいとのご発言がございましたので、国民健康保険料について、より深く分析を行っております。

現時点ではまだ、平成29年度予算の補助金や拠出金などの試算額が、歳入歳出ともに、各関係団体から示されておりませんので、確かな数字をお示しすることはできませんが、平成29年度の国民健康保険料につきましても、保険料の試算をするに当たり、引き下げることとを前提に検討しております。

【その他の質問】

・スポーツツーリズムを地域活性化に活かす取組について

Q 国民健康保険における資産割の廃止について

並木まり子議員 本町は県内でも高齢化率が高い町です。資産があっても所得が少なく消費税が8%に上がったからは特に厳しい生活になっています。資産割廃止を導入する事は県内では当然の動きと考えますが、それにより負担増となる部分は町が手当てすべきです。特に本町は法定外繰入をしていない為、他市町から越してこられた方は口々に国保料が高すぎると言っています。初めてお会いした方が「どうしてこんなに高くなるのか役場に聞きに行ったが納得できない」と怒っています。

A 平成29年度の予算で、いま国保料の引き下げについて検討しております。他は山本議員にお答えしたとおりです。

町長は湯河原の国保料が高いという認識をお持ちになっておられるか、他の市町村が行っているように法定外繰入を行うことや黒字になっている部分で資産割廃止に伴い増額される所に手当てする事はできないのかをお伺いします。

Q 健康診査の促進について

健康診査受診率の目標値が40%であると聞いていますが現在の22・1%であり、県下でも最下位に近い状況です。保健センターで行っている集団検診を年6回ではなく回数を増やすことが必要だと思いません。健診への意識を高める広報も工夫が必要です。住民ぐるみでその事に取り組んで健診率を上げている長野県松川村のように努力していただきたいと思えます。本町は高齢者が多く交通の便も悪いので町民体育館で行い、バス送迎する等も必要ではと考えますが、いかがですか。

A 新しい方法も考えており、その取組みの中で受

診率を上げていきたいと思ひます。回数については医師の方々のご意見を聞き考えたいと思ひます。

Q 姉妹都市交流について

善本真人議員

湯河原町は、大韓民国忠州市・オーストラリアポートステイブンス市と姉妹都市提携を、広島県三原市と親善都市提携を、富山県立山町・イタリアティヴォリ市と友好親善提携を、東京都豊島区と文化交流都市提携をされています。

姉妹都市提携は、地域の国際化と住民への国際交流機会の提供に、重要な役割を果たしてきました。ヒト・モノ・カネ・情報が地球上を自由に飛び交う時代となり、自治

体が外国と接触する機会が増えています。阪神・淡路大震災の時、世界中から多くの支援が寄せられました。その中で姉妹都市からは、被災地が特に必要とされていた支援物資が、的確に届けられました。平素から交流のある両市の担当者同士の連絡で、被災地に何が必要なかが、支援する側に正しく伝えられていたからです。

しかし、町民の中では、何処と交流しているのか知らない方が多いです。姉妹都市などの交流を、現在よりも有意義な形で展開する方策についてお聞かせください。

A 今後は、本町とそれぞれの都市との産業の違いを生かした交流や、スポーツを通じた交流人口の増加を図るなど、「国際交流推進事業助成制度」

◆湯河原町議会の会議録は、ホームページで検索・閲覧ができます。



※本会議会議録は、議会終了後おおむね3か月で掲載されます。

委員会だより

総務文教・福祉 常任委員会 (12月2日開催)

○案件

●(仮称)防災コミュニティセンターの計画(案)について

【その他の質問】
・広報広聴について

平常時には住民のコミュニティ活動の場として多目的に利用できるスペース及び防災情報を発信できる機能を備え、災

害時には住民の安全・安心な暮らしを確保するため、災害活動の拠点及び避難施設としての機能を備えた施設を旧湯河原中学校跡地に整備する計画の説明を受け、審議しました。

併せて、住民の社会活動の拠点となる施設として(仮称)外部団体の棟の設置について説明を受け、審議しました。

●地場産品直売所整備計画(案)について

地産地消を推進するだけでなく、町民をはじめ国内外の観光客等が湯河原町ならではの様々な物販や情報発信の場をつくり、観光産業の推進と地域の活性化を図るため、川端公園を候補地として地場産品直売所を整備する計画であることの説明を受け、審議しました。

●八雲・まさご保育園統合事業について

現在の若宮公園に建設予定の八雲・まさご保育園統合事業について、設計業者から示された3案について説明を受け、中でも保育園運営に適していることに加え、駐車場の確保及び津波避難対策としても有効で、かつコストを抑えられる1案を主体とした実施計画を策定したいとの説明を受け、審議しました。

○主な報告事項

●町史編さんの進捗状況について

町村合併60周年を記念して作成する町史の編さんスケジュール進捗状況について報告を受けました。

●介護予防・日常生活支援総合事業について

介護保険法の改正に伴い、平成29年度から開始される介護予防・日常生活

支援助総合事業について、現行提供されているサービスからの変更点や新たな制度実施までの今後のスケジュールについて報告を受けました。

●平成28年度臨時福祉給付金事業（経済対策分）について

消費税の引上げによる影響等を緩和するため、所得の低い方々に対して軽減税率の導入を行うまでの間の暫定的・臨時的な措置として支給する給付金の事業概要及びスケジュールについて報告を受けました。

●保育園の入園申込みについて

●第三次湯河原町子ども読書活動推進計画（案）について

環境・観光産業
常任委員会

○案件
(12月6日開催)

●若草山トンネル改修工事について

現在着手している若草山トンネル改修工事について、裏込注入工事における実際の空洞量が設計時に見込んだ推定空洞量より多くなるため、工事内容に変更が生じることの説明を受け、審議しました。

●上下水道料金徴収一元化について

行政サービスの向上と事務の簡素化並びに下水道使用料の収納率向上のため、平成30年度からの運用開始に向けて町営水道料金と下水道使用料の納付書を統合し、毎月請求の方法へ変更するための準備を進めているとの説明を受け、審議しました。

○主な報告事項

●湯河原町ごみ収集業務委託について

現在のごみ収集業務は

町税等徴収対策
強化特別委員会

(11月21日開催)

平成28年度9月末現在の町税等収納状況、滞納繰越分の状況について報告を受け、少額滞納繰越者への対応を強化し、滞納金額が大きくなることを未然に防ぐ対応について、今後の具体的な徴収対策の強化方法等について審議しました。

また、コンビニエンス収納とクレジット収納の4～9月分の科目別・月別の利用状況の報告を受けました。



補正予算が決まりました

【平成28年12月定例会】

会計名・補正額		概 要
一般会計（第4号） （1億3,156万8,000円の増額）		職員人件費の減額 まちづくり基金積立金の増額 万葉荘分割取得事業費の増額 臨時福祉給付金等給付事業費の増額 健康増進事業費の増額 （仮称）防災コミュニティセンター整備事業費の増額 など
国民健康保険事業特別会計（第3号） （47万4,000円の増額）		職員人件費の増額 一般被保険者高額療養費の増額 予備費の減額 など
下水道事業特別会計（第2号） （600万円の減額）		職員人件費の増額 電気使用料の減額 町債償還利子の減額 など
介護保険事業特別会計（第2号）	≪保険事業勘定≫ （79万8,000円の増額）	職員人件費の減額 一般管理経費の増額 など
	≪介護サービス事業勘定≫ （増減なし）	職員人件費の減額 予備費の増額
水道事業会計（第2号） （22万8,000円の増額）		職員人件費の増額
温泉事業会計（第1号） （増減なし）		職員人件費の減額 源泉しゅんせつ委託料等の増額 など

主な条例の 制定・改正

● 地方公営企業法の規定に基づくと下水道事業の設置に伴う関係条例の整備に関する条例(制定)

平成29年4月から地方公営企業法の規定に基づく下水道事業の設置に伴い、湯河原町公営企業の設置等に関する条例など3つの条例の一部改正と湯河原町特別会計条例を廃止するため、条例を制定しました。

● 湯河原町駐車場条例(一部改正)

道路交通法の一部改正に伴い、自動車の種類に準中型自動車等新たに規定されるため、条例を改正しました。

● 湯河原町職員の給与に関する条例等(一部改正)

人事院勧告に基づき国家公務員の給与等が改正されることに伴い、これに準じて町職員の給与の改定、介護時間等を規定するため、条例を改正し

ました。

●湯河原町常勤の特別職員
の給与に関する条例
(一部改正)

人事院勧告に基づき国家公務員の給与と改定に準じ、一般職職員の給与と改定を行うことを踏まえ、特別職職員の給与と改定を行うため、条例を改正しました。

●湯河原町税条例(一部改正)

地方税法の一部改正に伴い、非課税等の申告を必要とする固定資産及び固定資産税の課税標準の特例を追加し、並びに軽自動車税の税率の特例を延長するため、条例を改正しました。

●湯河原町国民健康保険
条例(一部改正)

国民健康保険料の賦課割合について、平成30年度に資産割を廃止するに当たり、段階的に所得割へ移行するため、条例を改正しました。

議員提出議案

●湯河原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例(一部改正)

人事院勧告に基づき国家公務員の期末勤勉手当の支給割合が改正されることに伴い、町職員の同支給割合を改正することを踏まえ、町議会議員の期末手当の支給割合を引き上げるため、条例を改正しました。

人事案件

◆湯河原町教育委員会委員の任命について

石井紘一さんの任期が平成29年1月31日で満了となるため、新たに西山清和さんを教育委員会委員に任命することに同意しました。任期は平成33年1月31日までです。

◆人権擁護委員候補者の推薦について

岩本正次さんが平成28年12月31日で辞職するため、新たに力石和則さんを人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦することに同意しました。任期は平成32年3月31日までです。

自治功労者表彰式・ 町村議会議員研修会

平成28年11月18日(金)、大井町生涯学習センターにおいて神奈川県町村議会議長会主催の自治功労者表彰式及び町村議会議員研修会が開催されました。

表彰式では、土屋誠一議長が県町村議会議長会会長として、町村議会議員として11年以上在職し、地方自治の発展に顕著な功績があったと認められる議員に対して、表彰を行いました。

研修会では、講師の株T Mオフィス代表取締役PRプロデューサー殿村美樹氏による「地方の魅力発掘とPR戦略『埋もれた宝』を見つけよう」と題した講演を傾聴しました。



表彰式・議員研修 (11月18日)

第22回 全国博覧会下開催記念

能楽 狂言の宴

二十五世 宇家瑞男
大藏彌太郎 千慮 ほか

わげから
演目「抜殻」
2/17(金) 午後1時20分～【雨天中止】

審議した議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対を表しています。

(平成28年12月定例会)

議案番号	議案名	議員名	並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井温	露木寿雄	室伏重孝	原田洋	松野満	審議結果	採決日
75	地方公営企業法の規定に基づく下水道事業の設置に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
76	湯河原町駐車場条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
77	湯河原町職員の給与に関する条例等の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
78	湯河原町常勤の特別職職員の給与に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
79	湯河原町税条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
80	湯河原町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
81	湯河原町国民健康保険条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
82	平成28年度湯河原町一般会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
83	平成28年度湯河原町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
84	平成28年度湯河原町下水道事業特別会計補正予算(第2号)		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
85	平成28年度湯河原町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
86	平成28年度湯河原町水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
87	平成28年度湯河原町温泉事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30
88	湯河原町教育委員会委員の任命について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	12/9
89	人権擁護委員候補者の推薦について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	12/9
議員提出 第2号	湯河原町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	11/30

平成28年度湯河原町議会一般会議

日 時：平成28年11月17日(休)

午後3時30分～5時00分

場 所：湯河原観光会館3階小会議室

出席者：町議会議員 12人

湯河原町商工会 9人

湯河原温泉旅館協同組合 3人

湯河原温泉観光協会 8人

内 容

1. 湯河原町商工会

- (1)創業セミナーについて
- (2)2016ふれあい広場産業祭について
- (3)星空教室in星ヶ山について
- (4)湯河原HALLOWEENについて

2. 一般社団法人湯河原温泉観光協会、湯河原温泉旅館協同組合

- (1)湯河原温泉芸妓のCD製作について
- (2)エリア資源にかかるニーズ調査（ギャップ調査）について

主な意見交換

- ・ 創業セミナーにはどのような方が参加しているのか、また創業支援に当たり融資を希望する方に対しては、セミナーに参加した時点ではなく、事前に金融機関の融資制度を教えてあげるべきだと思う。
- ・ 星空教室in星ヶ山では、町民向けに参加募集したとのことだが、どのような手法で募集したのか。教育委員会に協力してもらい、児童・生徒を通じてご家庭に周知したらどうか。夏季に実施した際に挙げた問題点を解決し、大々的に募集をかければ誘客につながると思う。大型車が乗り入れできないという難しい点もあるが、ニーズがあればそれに対応していく必要はある。
- ・ 湯河原HALLOWEENについて、来場者数が増加した要因はどのように分析しているか。イベント開催前の告知やPRも盛んに行われ、事後もフェイスブック等に写真をアップする等、来年へ向けての取組みの1つとして非常に効果的だと思う。また、ハロウィン自体は子ども向けのイベントなので、子どもたちがもっと楽しめる、

子ども中心の催しを考えれば誘客につながるのではないかと。ハロウィンに参加する宿泊客に対して特典を設けることも考えては如何か。

- ・ 湯河原温泉芸妓のCD製作は、三味線の弾き手が廃業されたということで、こういう時代の流れなので、費用をかけても必要だと思うが、これと並行して三味線を弾ける方を養成することも考えてほしい。
- ・ ギャップ調査を実施した他市町での調査期間や抽出サンプル数はどの程度か。また、調査を実施した後に観光協会、商工会はもちろんのこと、行政側ともしっかり足並みを揃えて今後の方向性を導き出してほしい。



一般会議とは・・・

一般会議とは、私たち町議会議員と町内で活動している各種団体等の皆さんと、町政に関すること、議会活動への意見・要望及び提言などについて、幅広く、自由に意見交換を行う場です。

議長に開催の申込みがあった場合、議長の諮問機関であります「議会運営委員会」において、開催する必要があるかどうかを協議し、開催を決定させていただきます。

なお、お申込みに当たっては、日程の調整や会場の都合などがありますので、事前に議会事務局までご連絡ください。

各議員の委員会等への出席状況（平成28年4月～12月）

委員会名等	開催日数	議 員 名														
		並木まり子	松井一寿	石倉幸久	善本真人	佐藤恵	室伏寿美夫	山本俊明	村瀬公大	石井温	露木寿雄	室伏重孝	原田洋	松野満	土屋誠一	
議会運営委員会	12	出席					12	12	12	12		11	12	12		
		傍聴	11	12	11	12					12				7	12
総務文教・福祉 常任委員会	6	出席	6		5		6	6			6	6				6
		傍聴		6		5			6	6			6	6	2	
環境・観光産業 常任委員会	5	出席		5		5			5	5			5	5	5	
		傍聴	5		4		5	5			5	5				5
広域行政 特別委員会	5	出席			5	5		5	5		5		5		5	
		傍聴	5	5			5			5		5		5		5
議会だより 編集委員会	4	出席	4	4	4		4			4	4					
		傍聴				1		3	4			4	2	3	1	1
町税等徴収対策強化 特別委員会	3	出席	3	3		3	3			3	3	3				
		傍聴			3				1	3				3	3	1
公の施設等整備調査 特別委員会	3	出席		3		3			3	3		3			3	
		傍聴	3		3		3			3		3		3		3
決算審査特別委員会	2	出席				2			2	2	2	2		2	2	
		傍聴	2	2	2		2					2			2	2
全員協議会 ※1	5	出席	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
所属する委員会及び全員協議会 への出席状況 ※2		出席	18	20	19	23	30	33	32	31	28	25	32	24	18	11
		回数	18	20	20	23	30	33	32	31	28	26	32	24	18	11
所属しない委員会の傍聴状況 ※2		傍聴	26	25	23	18	15	9	13	14	17	19	11	20	13	31
		回数	27	25	25	22	15	12	13	14	17	19	13	21	27	34

表の見方 ※1 全員協議会は、全議員が出席するため傍聴はありません。

※2 各議員の委員会の所属状況により、所属する委員会の回数、所属しない委員会の回数は異なります。

箱根駅伝観光 キャラバンに 参加しました



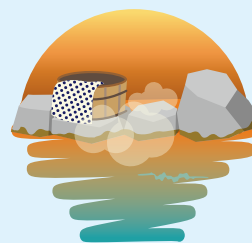
1月2日(月)、恒例となった箱根駅伝往路ゴールの芦ノ湖湖畔付近で、湯河原みかん4,000袋(3t)と観光パンフレットの配布を行う観光キャラバンに有志議員9名が参加し、町長、商工会長、町職員、観光協会職員とともにみかんを配りながら観光PRを行いました。



熱海・箱根・湯河原 広域行政観光展

12月21日(水)、横浜新都市プラザで熱海・箱根・湯河原広域行政推進協議会が実施した観光展に土屋議長と山本広域行政特別委員長の2名が参加しました。

湯河原温泉宿泊券、名産品等が当たる抽選会なども行われ、観光パンフレットを配布しながら観光PRを実施しました。



傍聴のご案内

本会議及び常任・特別委員会は、傍聴ができます。
(本会議の傍聴は、先着20名、委員会の傍聴は、先着6名です。)

【受付】開催日の午前9時から

【場所】第1庁舎2階 議会事務局

3月議会日程

2月20日(月)午前 本会議(条例・補正予算・当初予算・町長施政方針演説等)

22日(水)午前 環境・観光産業常任委員会

24日(金)午前 総務文教・福祉常任委員会

28日(火)午前 本会議(代表質問・予算質疑等)

3月1日(水)午前 本会議(一般質問等)

3日(金)午前 予算審査特別委員会(一般会計)

6日(月)午前 予算審査特別委員会(特別会計・企業会計)

8日(水)午後 本会議(委員長報告等)

【午前は10時、午後は3時の予定です。】

編集後記

米国の新たな大統領就任や、東京オリンピックや築地市場問題など、国内外問わず、政治にまつわるニュースが昨年来、多く報道されています。本町においても、様々な議論の過程をわかりやすく、透明性高くお伝えすることこそが私達、議会の役割だと強く感じます。

本年もこの議会ゆがわらを通じ、皆様に議論の一端をよりわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。また是非、傍聴にもお越しいただき、議会を身近に感じてください。 (松井 一寿 記)

議会だより編集委員会

委員長 村瀬 公大

副委員長 佐藤 恵

委員

並木まり子 松井 一寿
石倉 幸久 石井 温